

レビー小体型認知症サポートネットワーク京都

レビー小体型認知症は、運動症状や精神症状等、特有のトラブルを生じやすく、
対応に悩まれることが多く、相談窓口が必要な病気です。

ご本人・ご家族を中心として、専門医・医療、介護専門職が同席し、
一緒に学び、語り合い、理解を深め、困っている事、悩んでいる事等
気軽にご相談戴ける場でもあります。

「こういう時は、どういうふうに対応したらいいの?」「こんな時、気軽に相談できるところが
あればいいのに」「これからどういうふうになるの?」等・・・
一人で抱え込まず、お気軽に交流会でご相談下さい。



dlbsn-kyoto.com

講話：「どのような時に入院を考えるのか・・・」

～入院のメリット・デメリット～

京都府立医科大学附属病院 精神科教授 成本 迅先生

相談交流会は、辻医院 辻輝之先生にご協力を戴きます。

精神症状によって日常生活に支障が出てくると一旦、精神科の入院を検討することがあります。

ただ、入院することでのメリット・デメリットがあります。

今回は、その入院及び退院のタイミングやどういう心構えが必要なのか などについて
学び・考えたいと思います。

■日時：2024年10月12日(土) 13:30～16:00

■会場：ハートピア京都 第5会議室

■参加費：500円(会場支払) ■定員：6組12名

■申し込み方法：下記URLかQRコードからお申込み下さい。

【締切】2024/10/10(木)

定員になり次第受付を終了させて戴きます。



<https://forms.gle/te8T1LAyN4Qwm5rH8>

レビー小体型認知症サポートネットワーク京都 (DLBSN 京都)
電話：090-1248-7890 (代表：布施) FAX:075-468-8424
メール:dlbsn.kyoto.2017@gmail.com
ホームページ：<https://www.dlbsn-kyoto.com/>